

FENDI
TIMEPIECES

ごあいさつ	2
ブランドの歴史	2
保証内容と保証条件	3
クオーツ ウォッチ	5
クオーツ クロノグラフ ウォッチ	8
自動巻きウォッチ	13
ブレスレット／ストラップ - アクセサリー	14
使用上のご注意 - お手入れ	18

ごあいさつ

このたびはFendi Timepieces (フェンディ タイムピース) のウォッチをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。1988年以來、Fendi Timepiecesはイタリアの美的感覚とスイスの時計製造の技術とを大胆に組み合わせ、厳選した素材とカラーを用いて世界最高級のウイメンズ、メンズ向けウォッチをデザインしてきました。

この取扱説明書では、お買い上げいただいたウォッチの保証条件、使用上の注意、お手入れの方法などを記載しています。お手元のウォッチを最高の状態でご使用いただき、長年にわたりお買い上げ当初の品質を維持いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただけますようお願い申し上げます。

ブランドの歴史

FENDI (フェンディ) ハウスが誕生したのは1925年のことで、ローマのプレビシート通りでハンドバッグの店舗と毛皮のワークショップを設立したのが始まりです。Edoardo Fendi (エドアルド・フェンディ) とAdele Fendi (アデーレ・フェンディ) によるFENDIの新事業は、たちまち評判を呼び、事業の発展と共に毛皮加工ワークショップが拡張されます。FENDIの名は、すでにローマでは有名になっていましたが、1930～1940年代になるとローマ以外の都市でも評判を勝ち得ていきます。

その後、数十年にわたり、すでに名声を確立していたクラフツマンシップに磨きをかける一方で、大胆な創造力を発揮し、FENDIはレザー製品、旅行用品、スーツケースなどを手がけていきます。

1988年、FENDIは高級ウォッチの分野に手を広げ、Silvia Venturini Fendi (シルヴィア・ヴェントゥリーニ・フェンディ) の指揮のもと、独創的なコレクションを世に送り出すことになります。1990年、ミラノでメンズウォッチ初のコレクションが発表されました。2001年、LVMHがFENDIの過半数出資株主となります。

Fendi Timepiecesの一連のウォッチは、最新の流行に敏感な、洗練されたエレガントな女性を魅了しているだけでなく、クラシックなクォーツや自動巻きモデルから、2つまたは3つのカウンターを備えたクロノグラフに至るまで、個性的なスタイルを求める男性からも支持を得ています。

保証内容と保証条件

保証

優れた品質を確保するために一貫してスイス国内で製造されているFendi Timepiecesのウォッチは、衝撃と温度変化に強く、防水・防塵機能を備えています。商品デザインから開発、部品の製造と組立て、最終品質検査に至るまで、ウォッチ製造の各段階で非常に厳しい基準が守られています。

Fendi Timepiecesのウォッチは、お買い上げ日から24ヶ月間、下記の条件のもとで、製造上のあらゆる瑕疵についての保証が備わっています。本保証が有効となるのは、国際保証カードにお買い上げ時にFendi Timepieces認定販売店によって必要事項が正しく記入され、署名と日付（「購入日」）が記載されている場合だけです。この国際保証カードは、ご来店時にウォッチと一緒にご提示いただき、ご購入日を確認できれば、世界中のすべてのFendi Timepieces認定サービスセンターで有効とみなされます（サービスセンターのリストについては、別途記載のリンクをご覧ください）。

保証期間はご購入日から24ヶ月間とし、機構、ブレスレット、クリスタル、電池、メッキ、ダイヤル、針、ケースに影響を及ぼす不良部品または製造上の欠陥によるあらゆる不具合が対象です。

ご購入日から24ヶ月以内で、なおかつ下記の免責事項に該当しない場合は、Fendi Timepieces認定サービスセンターがウォッチの完璧な機能を妨げている純正部品を無償で修理または交換させていただきます。

免責事項

本保証は、外部に露出した部品、メンテナンス、電池、オーバーホール、湿気の影響による損傷（「防水」表示のあるモデルを除く）、ストラップ、ブレスレット、バックル、リューズ、仕上げ、かき傷には適用されません。また、本保証は事故もしくは誤用により生じた一切の損傷または故障にも適用されません。認定サービスセンター以外の第三者によって改変、修理または整備（電池交換またはウォッチを開く行為を含み、かつこれに限定されないものとします）が行われた場合、保証は失効します。その他、以下のケースも本保証の適用対象外とさせていただきます。

- 電池の寿命（電池内蔵モデルの場合）
- ブレスレットまたはストラップの損耗（変色、ストラップ素材の変質を含み、かつこれに限定されないものとします）
- クリスタル（かき傷）
- ウォッチの経年劣化と通常の損耗
- 誤用または不適切な取扱いに由来する損傷
- 事故または衝撃に由来する損傷
- ウォッチの機能妨害またはいたずらに由来する一切の結果
- 間接的、副次的または懲罰的損害
- ウォッチの盗難または紛失
- 不可抗力の事態（自然災害を含み、かつこれに限定されないものとします）
- ウォッチのシリアル番号が削除、抹消、または改変された場合
- 湿気の影響による損傷（「防水」表示のあるモデルを除く）

発送と梱包についてのガイドライン

世界のFendi Timepieces認定サービスセンターのリストはFENDIオフィシャル ウェブサイトでご確認ください：

www.fendi.com/timepieces

お手元のFendi Timepiecesウォッチの修理または整備が必要になった場合は、お住まいの地域にあるサービスセンターを選択し、発送については以下の手順に従ってください。

1. 衝撃から保護するために梱包材を用いてしっかりと梱包してください。
2. 書留郵便、または保険付きの宅配便にてお送りください。Fendi Timepiecesの代替品に相当する金額の保険をお掛けください。
3. お名前、ご住所、お電話番号、および故障内容の詳細をご記入ください。
4. お受けになる修理または整備が保証対象である場合は、必要事項をすべて記載した国際保証カードとご購入日を証明するものを同封してください。ご購入日を証明できるものと国際保証カードのコピーをご自身で保管してください。

以上の要件を完全に満たしていない場合、保証が無効になることがあります。

Fendi Timepieces認定サービスセンターへのご返送にかかる発送および保険費用については、お客様にご負担いただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。

いくつかの国や地域では、黙示的保証の除外もしくは制限、および付随的もしくは間接的損害の制限が認められていません。そのため、これらの制限や除外が全てお客様に適用されるとは限りません。黙示的保証が除外されない場合は、黙示的保証は書面による適用可能な保証の期間に限定されます。お客様は本保証により特定の法的権利が付与されますが、お住まいの地域の法律によってその他の権利が付与されている場合もあります。本保証はお客様の法的権利に影響を与えるものではありません。

クォーツ ウォッチ

一般情報



Fendi Timepiecesのクォーツ ウォッチは、正確無比のクォーツを使ったスイスメイドのクォーツムーブメントで駆動されます。動力源として電池を内蔵し、その寿命は連続使用した場合で一般に2年を超えます。ゼンマイを手巻くする必要はありません。

時計を数週間また数ヶ月間にわたって使用しない場合は、リューズを位置II（日付表示機能付きモデルの場合は位置III）に引き出し、その状態で保管することを推奨します。こうすることで、ムーブメントへの電気の供給が止まり、電池の寿命がその分長くなります。

時刻の調整



時刻合わせはリューズで行います。以下にその方法を説明します。

1. リューズを位置II（日付表示機能付きモデルの場合は位置III）に引き出します。
2. リューズを前後に回して現在の時刻を表示させます。
3. リューズをケースに押し込み、本来の位置Iに戻します。

ご注意：日付表示機能付きモデルの場合、日付表示の変更が正午ではなく、深夜0時に行われる必要があります。



時刻の設定は、ケースバックに設けられたプッシュボタンで行います。以下にその方法を説明します。

1. 付属の工具でプッシュボタンを押して、時間を調整します。押し続けると針が速く進みます。
2. 付属の工具でプッシュボタンを連続的に押して分を調整して、正しい時刻を表示させます。

日付の即時修正



日付表示機能付きモデルでは、時計針が深夜0時を回ったときに自動的に日付が変わります。必要な場合に備え、表示時刻を変えることなく、リューズを操作して日付だけを修正する機能が用意されています。以下にその方法を説明します。

1. リューズを位置IIに引き出します。
2. リューズを前方に回して現在の日付をウィンドウに表示させます。
日付表示の変更が正午ではなく、深夜0時に行われることを確認します。
3. リューズをケースに押し込み、本来の位置Iに戻します。

ご注意：カレンダー機能が駆動している21時から24時の間は、**日付は翌日になるように調整してください。**

クォーツ ウォッチ

Fendi IShine

この時計にはケースバックに時刻調整用のプッシュボタン、3時の位置にインデックス (ダイヤルのジェムストーン) の回転用リユース (1) が付いています。

時刻の調整



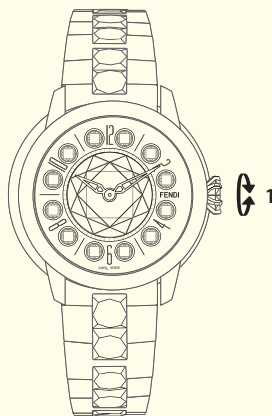
時刻合わせはケースバックのプッシュボタンで行います。以下にその方法を説明します。

1. 付属の工具でプッシュボタンを押して、時間を調整します。押し続けると針が速く進みます。
2. 付属の工具でプッシュボタンを連続的に押して分を調整して、正しい時刻を表示させます。

ダイヤルのジェムストーンの回転

この時計は、ダイヤルにあるジェムストーンの色を変えて、ルックスを変更することができます。ジェムストーンを3種類のコンビネーションからお選びいただけます。

3時の位置のリユース (1) でジェムストーンを回転させます。希望の色が現れるまでリユースを回すことができます。コンビネーションが変化するたびに、カチッという音がします。



クオーツ ウォッチ

Crazy Carats (クレイジーカラット)

このモデルには、リューズが2つあります。10時の位置(1)にあるのは時刻調整用、4時の位置(2)にあるのはインデックスの回転用です。

時刻の調整



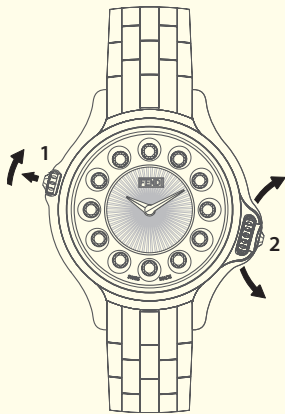
時刻合わせはリューズで行います。以下にその方法を説明します。

1. 10時の位置にあるリューズ(1)を位置IIに引き出します。
2. リューズを前後に回して現在の時刻を表示させます。
3. リューズをケースに押し込み、本来の位置Iに戻します。

インデックスの回転

この時計は、インデックスの色を変えて、ルックスを変更することができます。1時から11時までのインデックスを3種類のコンビネーションからお選びいただけます。12時の位置にあるインデックス(ダイヤモンド)だけは固定で、色が変わりません。

4時の位置にあるリューズ(2)でダイアルのインデックスを回転させます。希望する色が現れるまでリューズを回すことができます。コンビネーションが変化するたびに、カチッという音がします。



クォーツ クロノグラフ ウォッチ

一般情報



Fendi Timepiecesのクォーツ クロノグラフ ウォッチは、正確無比のクォーツを使ったスイスメイドのクォーツムーブメントで駆動されます。動力源として電池を内蔵し、その寿命は連続使用した場合で一般に2年を超えます。ゼンマイを手巻きする必要はありません。

クロノグラフ ウォッチを数週間また数ヶ月間にわたって使用しない場合は、リューズを位置 II (日付表示機能付きモデルの場合は位置 III) に引き出し、その状態で保管することを推奨します。こうすることとて、ムーブメントへの電気の供給が止まり、電池の寿命がその分長くなります。

時刻の調整



時刻合わせはリューズで行います。以下にその方法を説明します。

1. リューズを位置 III に引き出します (秒針が停止します)。
2. リューズを前後に回して現在の時刻 (たとえば8時45分) を表示させます。
3. リューズをケースに押し込み、本来の位置 I に戻します。

ご注意: 秒まで正確に時刻を調整するには秒針が「60」秒の位置に達したところでリューズを引き出します。時刻を調整した後、秒が正確に合った瞬間にリューズをケースに押し込み、位置 I に戻します。

日付の即時修正



日付表示機能付きモデルでは、時計が深夜0時を回ったときに自動的に日付が変わります。必要な場合に備え、表示時刻を変えることなく、リューズを操作して日付だけを修正する機能が用意されています。以下にその方法を説明します。

1. リューズを位置 III に引き出します。
2. リューズを**前方**に回して現在の日付をウィンドウに表示させます。
日付表示の変更が正午ではなく、深夜0時に行われることを確認します。
3. リューズをケースに押し込み、本来の位置 I に戻します。

ご注意: カレンダー機能が駆動している21時から24時の間は、**日付は翌日になるように調整してください。**




クロノグラフの表示部と操作

Fendi Timepiecesのクロノグラフは、駆動機構としてクォーツムーブメントを備え、カウンターを2つもしくは3つ備えています。

クォーツ クロノグラフ ウォッチ





クロノグラフの基本機能

例：

-  **1. スタート：** プッシュボタン **A** を押すと時間計測が始まります。
-  **2. ストップ：** プッシュボタン **A** をもう一度押して時間計測を停止し、2つのクロノグラフカウンターの時間を読み取ります：
4分 / 7秒 / 4/5秒
-  **3. リセット：** プッシュボタン **B** を押すと、2本（モデルによっては3本）のクロノグラフ針がゼロ位置に戻ります。






積算時間計測

例：

-  **1. スタート：** プッシュボタン **A** を押すと時間計測が始まります。
-  **2. ストップ：** プッシュボタン **A** をもう一度押して時間計測を停止し、経過時間、たとえば15分5秒を読み取ります。
-  **3. リスタート：** プッシュボタン **A** をもう一度押して時間計測を再開します。以後、プッシュボタンを押すたびに、時間計測の停止、再開を繰り返します。この場合、カウンターには積算時間が継続的に表示されず、最後に表示された時間が、トータルの積算時間です。
-  **4. リセット：** プッシュボタン **B** を押すと、2本（モデルによっては3本）のクロノグラフ針がゼロ位置に戻ります。

中間時間計測

例：

-  **1. スタート：** プッシュボタン **A** を押すと時間計測が始まります。
-  **2. 中間時間の表示：** プッシュボタン **B** を押すと経過時間が、たとえば10分と10秒のように表示されます。時間計測は止まらず、バックグラウンドで続行されます。
-  **3. 計測時間の取り戻し：** プッシュボタン **B** をもう一度押すと、クロノグラフ針が再び動き始めます。このとき、針は動きを止めていた分だけ、一気に進みます。その後、プッシュボタンを押すたびに、上記の動作を繰り返します。
-  **4. ストップ：** プッシュボタン **A** を押すと時間計測が止まります。最終的な計測時間が表示されます。
-  **5. リセット：** プッシュボタン **B** を押すと、2本（モデルによっては3本）のクロノグラフ針がゼロ位置に戻ります。

クォーツ クロノグラフ ウォッチ – ダブルカウンターモデル

ゼロ位置へのクロノグラフ針の調整

1 本または複数のクロノグラフ針が正確にゼロ位置に戻っていない場合は（たとえば電池交換後）、調整する必要があります。以下にその方法を説明します。

1. リューズを位置 II に引き出します。
2. プッシュボタン A を 3 回押して、設定モードを有効にします。針が回転し始め、修正モードが有効になったことを示します。

30分カウンター針の設定



一目盛りずつ： B 1 回短く押す
連続： B 1 回長く押す



次の針の設定に移るには、プッシュボタン A を押します。

中央の秒針の設定



一目盛りずつ： B 1 回短く押す
連続： B 1 回長く押す



リューズをケースに押し込み、本来の位置 I に戻します。これで、クロノグラフ針の設定は完了です。

電池交換後の日付および時刻の調整

例：

- 時計が表示する日付/時刻：17日 / 1時25分
- 現在の日付/時刻：4日 / 20時30分

1. リューズを位置 II に引き出します。針は回り続けます。
2. リューズを回して現在の日付の前日を表示させます。
3. リューズを位置 III に引き出します。秒針が停止します。
4. リューズを回して現在の日付を表示させます。
5. リューズを回して現在の時刻を表示させます。
6. リューズをケースに押し込み、本来の位置 I に戻します。

秒まで正確に時刻を調整するには、「時刻の調整」の項を参照してください。


クォーツ クロノグラフ ウォッチ – トリプルカウンターモデル


ゼロ位置へのクロノグラフ針の調整

1本または複数のクロノグラフ針が正確にゼロ位置に戻っていない場合は（たとえば電池交換後）、調整する必要があります。以下にその方法を説明します。


1. リューズを位置 III に引き出します。3本のクロノグラフ針が正確、あるいは不正確にゼロ位置に移動します。
2. プッシュボタン A を3回押して、設定モードを有効にします。センターの秒針が360°回転し、修正モードが有効になったことを示します。


30分カウンター針の設定

 一目盛りずつ： B 1回短く押す
連続： B 1回長く押す


 次の針の設定に移るには、プッシュボタン A を押します。


1/10分カウンター針の設定

 一目盛りずつ： B 1回短く押す
連続： B 1回長く押す

 次の針の設定に移るには、プッシュボタン A を押します。

中央の秒針の設定

 一目盛りずつ： B 1回短く押す
連続： B 1回長く押す

 リューズをケースに押し込み、本来の位置 I に戻します。これで、クロノグラフ針の設定は完了です。

電池交換後の日付および時刻の調整

例：

- 時計が表示する日付／時刻：17日／1時25分
- 現在の日付／時刻：4日／20時30分

1. リューズを位置 II に引き出します。針は回り続けます。
2. リューズを回して現在の日付の前日を表示させます。
3. リューズを位置 III に引き出します。秒針が停止します。
4. リューズを回して現在の日付を表示させます。
5. リューズを回して現在の時刻を表示させます。
6. リューズをケースに押し込み、本来の位置 I に戻します。


秒まで正確に時刻を調整するには、「時刻の調整」の項を参照してください。

クォーツ クロノグラフ ウォッチ – トリプルカウンターモデル

ゼロ位置へのクロノグラフ針の調整

1本または複数のクロノグラフ針が正確にゼロ位置に戻っていない場合は（たとえば電池交換後）、順次調整する必要があります。そのためには、リューズを位置IIに引き出します。3本のクロノグラフ針が正確、あるいは不正確にゼロ位置に移動します。


時カウンター針の設定

 **A** プッシュボタン **A** を押して、時カウンターを有効にします。

プッシュボタン **B** を押して、時カウンター針を **10** の位置に合わせます。




30分カウンター針の設定

 **A** プッシュボタン **A** を押して、分カウンターを有効にします。

プッシュボタン **B** を押して、分カウンター針を **30** の位置に合わせます。



中央の秒針の設定

 **A** プッシュボタン **A** を押して、クロノグラフ セCOND（秒針）を有効にします。

プッシュボタン **B** を押して、クロノグラフの秒針を **0** もしくは **12 h** の位置に合わせます。



リューズをケースに押し込み、本来の位置 **I** に戻します。これで、クロノグラフ針の設定は完了です。

電池交換後の日付および時刻の調整

例：

– 時計が表示する日付／時刻：17日／1時25分

– 現在の日付／時刻：4日／20時30分

1. リューズを位置 **II** に引き出します。針は回り続けます。
2. リューズを回して現在の日付の前日を表示させます。
3. リューズを位置 **III** に引き出します。秒針が停止します。
4. リューズを回して現在の日付を表示させます。
5. リューズを回して現在の時刻を表示させます。
6. リューズをケースに押し込み、本来の位置 **I** に戻します。

秒まで正確に時刻を調整するには、「時刻の調整」の項を参照してください。

自動巻きウォッチ

一般情報



Fendi Timepiecesの機械式ウォッチはスイスメイドの自動巻きムーブメントを備え、お客様の手首の自然な動きに振動ウェイトが反応してゼンマイを巻き上げます。パワーリザーブは一般に38時間程度です。

手巻き

時計を身に付けている限り、ゼンマイを手で巻き上げる必要はありません。

しかし、約38時間以上にわたって置きっぱなしにしたときは、手でゼンマイを巻く必要があります。そのためには、リューズを数回（前方に）回すか、時計を横方向に数回振ると時計が再び動き出します。手巻きでパワーリザーブを最大にするには、リューズを32回ほど（前方に）回す必要があります。

時刻の調整



時刻合わせはリューズで行います。以下にその方法を説明します。

1. クラウンを位置II（日付表示機能付きモデルの場合は位置III）に引き出します。
2. リューズを前後に回して現在の時刻（たとえば8時45分）を表示させます。
3. リューズをケースに押し込み、本来の位置Iに戻します。

日付の即時修正



日付表示機能付きモデルでは、時計が深夜0時を回ったときに自動的に日付が変わります。必要な場合に備え、表示時刻を変えることなく、リューズを操作して日付だけを修正する機能が用意されています。以下にその方法を説明します。

1. リューズを位置IIに引き出します。
2. リューズを**前方**に回して現在の日付をウィンドウに表示させます。
日付表示の変更が正午ではなく、深夜0時に行われることを確認します。
3. リューズをケースに押し込み、本来の位置Iに戻します。

ご注意：カレンダー機能が駆動している21時から24時の間は、**日付は翌日になるように調整してください。**

ブレスレット／ストラップ

一般情報

Fendi Timepiecesのウォッチは、モデルによってレザーストラップまたはメタル素材のブレスレット付きで、さらにオプションでFENDIのファー工房で作られた天然ファーのアクセサリーを取付けることができます。カフスやカラーなどのアクセサリーは、ウォッチの優雅な魅力を一層引き立たせます。レザーストラップは最高品質の皮革を、伝統的で精緻な手法で加工して作られています。厳選されたレザーを丹精込めて仕上げたストラップは、一つひとつがFENDIのクラフツマンシップの証です。

レザーストラップの交換／メタルブレスレットの長さの調整

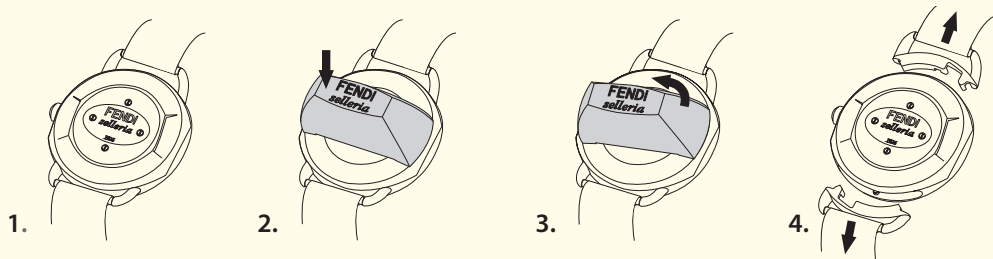
Fendi Timepiecesのウォッチのレザーストラップの交換またはメタルブレスレットの長さの調整は、リンクをいくつか追加もしくは取外す必要がありますので、最寄りのFendi Timepieces 認定販売店にご依頼いただくことを推奨します。ブレスレット／ストラップまたはケースを傷つけることなく行うのに必要な工具を所有しているのは、Fendi Timepieces 認定販売店だけです。

Selleriaなど特定のモデルでは、お客様ご自身でいつでも簡単にストラップを交換いただけます。

Selleria Womanのストラップ交換

ストラップを交換するには、時計のケースバックを開ける必要があります。その作業は、時計に付属する工具を用いて行います。手順は以下のとおりです。

1. 時計を裏返してケースバックを表向きにします。
2. Fendi Selleria用工具のノッチをケースバックに取付けます（閉じた状態：ノッチはリユーズに位置を合わせます）。
3. 工具を反時計回りに回してストラップのラグをリリースします。
4. ストラップを外します。



これと逆の手順で、代替のストラップを取付けます。

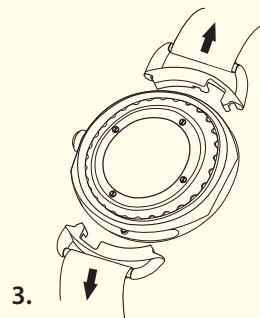
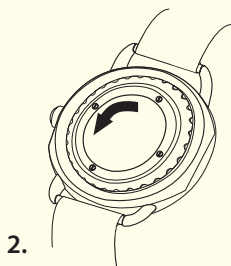
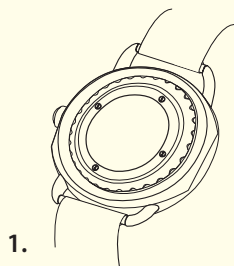
1. 交換して取付けるSelleria Womanストラップをケースのノッチに差し込みます。バックルの付いたストラップの短い方のベルトは時計の上側（12時側）に、長い方は下側（6時側）に取付けてください。
2. ラグを取付けたら、Fendi Selleria用工具を使用してケースバックを時計回りに回し、ふたたび閉じた状態にします。

ブレスレット／ストラップ

Selleria Manのストラップ交換

この時計のストラップを交換するには、時計のケースバックを開ける必要があります。手順は以下のとおりです。

1. 時計を裏返してケースバックを表向きにします。
2. ケースバックのノッチ付きパーツを反時計回りに回しきります。
3. ストラップを外します。



これと逆の手順で代わりのストラップを取付けます。

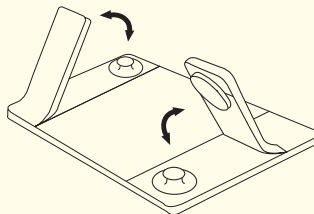
1. 交換して取付ける Selleria Man ストラップの2つのラグをケースのノッチに差し込みます。バックルの付いたストラップの短い方のベルトは時計の上側（12時側）に、長い方は下側（6時側）に取付けてください。
2. ラグを取付けたら、ケースバックのノッチ付きパーツを時計回りに回しきります。

ファー アクセサリー

ファー カラー

50年を超える歴史の中で、FENDIはスタイルとクオリティの両面においてファーというアートを新たな高みへと押し上げてきました。革新的な技法と独創性豊かなデザインを駆使して、ローマ ブランドとしてゆるぎないモダンさとラグジュアリーなコレクションで、この世界に革命をもたらしました。

一部のストラップにはファーのカラーを取付けることができます。以下はその取付け手順と説明図です。



1. カラーをストラップに被せます。
2. タブを閉じ、プッシュボタンで所定の位置に固定します。

Fendi Timepiecesが使用するファーについて

FENDIが使用するファーはすべて、絶滅の危惧のない、人工飼育された動物に由来するものだけです。FENDIはワシントン条約（絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約）および野生の動植物の取引に関する国際条約、ならびに国際、国内、地域の規則をすべて厳守しています。動物の飼育場は、関係規則に従い定期的に、厳格にチェックしています。またファーの加工は、環境負荷の少ない方法で行われています。

ダイヤモンド

4C (Four-Cs)

ダイヤモンド業界には、ダイヤモンドのグレードと特徴を区別するための基準があります。この鑑定基準は、一般に「4C (4つのC)」と呼ばれています。

カット (Cut)

4Cの中でおそらく最も重要なのが、ダイヤモンドのカットです。上質のカットはダイヤモンドに輝きを与えます。あたかもダイヤモンドの中心から光が放たれているかのように見える、きらめきのことです。ダイヤモンドのカットの角度と仕上げによって、光の反射能力、つまり輝きの度合いが決まります。

カラー (Color)

一般に、宝石商が問題にするのは、無色のダイヤモンドにカラーが混じっているかどうかです。無色のダイヤモンドは、透明な窓ガラスのように、色のついたダイヤモンドよりも多くの光を透過させるため、きらめく炎のような輝きを放ちます。そのため、ダイヤモンドは無色に近ければ近いほど価値が高くなります。

クラリティ (Clarity)

クラリティとは、ダイヤモンドにどれくらいの内包物が含まれているかを示します。ダイヤモンドを形成するときは大きな圧力が作用するため、ほとんどのダイヤモンドには何らかのキズがあります。内包物やキズがない（またはほとんどない）ダイヤモンドは稀少性が高いため、クラリティの劣るダイヤモンドよりも高く評価されます。クラリティの判定は、拡大率10倍のルーペを使って行われます。

カラット (Carat)

カラットはダイヤモンドの重さの計量単位です。1カラットは200ミリグラム (0.2グラム) に相当します。

保証書付きのダイヤモンドダイヤルとダイヤモンドケース

すべてのダイヤモンドケースとダイヤモンドダイヤルに、天然のダイヤモンドを使ったウォッチであることを示すダイヤモンド保証書が付属します。

使用上の注意 – お手入れ

一般情報

Fendi Timepiecesのウォッチの機能をいつまでも完璧な状態に保つために、以下の注意事項を守っていただくことをお勧めします。

1. 急激な温度変化や高温を避けてください（サウナ、蒸し風呂など）。
2. 腐食作用のある物質に接触させないでください。
3. ケース、リューズ、クリスタルに衝撃を与えないでください。防水性が低下し、内部の機構に損傷を与える可能性があります。部品が破損したり緩んだりした場合は、すぐにウォッチを修理にお出ください。
4. 乱暴な取扱いや衝撃を避けてください。サファイアクリスタルは非常に堅牢ですが、かき傷が付くような鋭利な物と接触させないでください。
5. 耐摩耗性向上のためにケース表面にPVD処理を施したモデルもあります。その場合でも、摩擦性の強いものとの接触は避けてください。
6. 長期間、動かさずにいることはウォッチのために良くありません。定期的に身につけることで、ムーブメントの最適な動きに必要な潤滑油が固まるのを防止できます。
7. Fendi Timepiecesのウォッチのレーザーストラップは最高級レーザーを使って作られています。レーザーの寿命を最大限にのばすために、香水、化学物質、海水との接触は避けてください。

防水性

ウォッチの防水性は永遠に保証できるものではありません。ガasketの経年劣化やリューズへの偶発的な衝撃により、防水性が低下する可能性があります。少なくとも年に1回はFendi Timepieces認定サービスセンターでウォッチの防水性点検を受けることをお勧めします。

ウォッチが水中にある状態では、絶対に時刻合わせ用リューズや押しボタンは操作しないでください。また、針の調整後は、必ずリューズをケースにしっかりと押し込んでください。

ウォッチが海水に浸かった場合は、真水で洗い流し、完全に乾かしてください。ウォッチをクリーニングする場合、腐食作用のある物質は使用しないでください。

Fendi Timepiecesのウォッチは、モデルに応じて、水深30 m (3気圧)、50 m (5気圧)、100 m (10気圧)、300 m (30気圧) の防水性を備えている場合がありますが、ダイバーズウォッチとは考えないでください。以下の推奨事項を守ってください。



30 m (3気圧) の防水性があれば、雨や撥ねた水などからウォッチが保護されます。したがって、潜水を伴わなければ、ウォッチを着用したまま水泳を楽しむこともできます。しかし、ウォッチをしたままシャワーを浴びることはできません。



50 m (5気圧) の防水性があれば、ウォッチをしたままシャワーを浴びたり、激しく水と接触することのない水上スポーツを楽しむことができます（水上スキーは不可）。



100 m (10気圧) の防水性があれば、シュノーケリング中もウォッチをしたままです。ただし、だからといってダイバーズウォッチとみなすことはできません。



300 m (30気圧) の防水性があれば、スキューバダイビング中もウォッチをしたままです。ただし、だからといってダイバーズウォッチとみなすことはできません。

使用上の注意 – お手入れ

クリーニング

お買い上げの時計（レザーストラップは除く）は、柔らかい布と石鹸水を使用して定期的にクリーニングすることをお勧めします。柔らかい布で、ケースとクリスタルを拭いてください。

電池交換

クォーツウォッチの電池の寿命は通常2年ほどです。しかし、その前に電池交換が必要となることもあります。内部の部品の損傷を避けるため、電池が切れた場合は、すぐにFendi Timepieces認定サービスセンターに電池交換を依頼してください。認定サービスセンターは、それぞれの地域で適用される環境保護規則に従い、使用済み電池のリサイクルを行います。

寿命がきたクォーツ時計の回収と取扱について *



この記号は、本製品を家庭用廃棄物と共に処分してはいけないことを表示しています。製品は、各地域の認定回収システムに返還される必要があります。この手続きを守ることにより、環境および人々の健康の保護に貢献することになります。物のリサイクルは、自然資源の保全に役立ちます。

* EU加盟国およびこれに対応する法律がある国に適用されます。

機械式ウォッチ

3～4年ごとをめぐりに、Fendi Timepieces認定の販売店または代理店で点検と整備を受けることを推奨します。すべての機械式ムーブメントのウォッチに共通して言えることとして、時間と共にオイルとグリースの蒸発が避けられず、そのまま放置するとウォッチの動作と精度に悪影響が及びます。このため、ムーブメントを徹底的にクリーニングし、潤滑油を差す必要があります。このメンテナンスの間に歩度の再調整が行われ、すべてのガスケットの交換によって新品同様の防水性が確保されます。

サービスセンター

世界各地に所在する Fendi Timepieces 認定サービスセンターのリストは、Fendi Timepiecesのウェブサイトでご確認ください。

www.fendi.com/timepieces